

0.2ミリケイ・ベタ
25ミリ↑
178ミリ2.5ミリケイ・20ミリ
70ミリ↑
80ミリyamaguchi-2.tif
39ミリに縮小
x21ミリ
y20ミリ

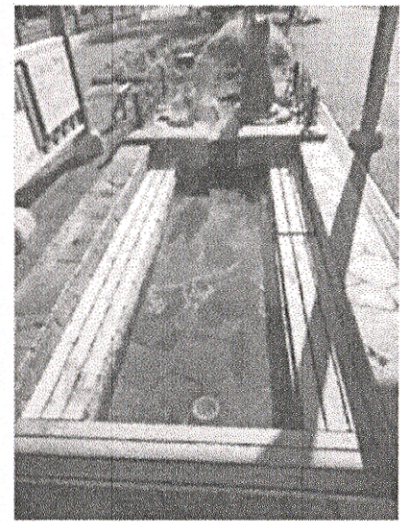
山口県

70ミリ
32a新ゴBx24ミリ
y24ミリ80ミリ 50a新ゴB
0.3ミリケイ・ベタ
流用
山口市 diary11aロタンB 24ミリ
総合病院山口赤十字病院 DATA・病床数：344床
・手術室：
・年間麻酔科管理：2313件
(2023年度)wero.tif
18ミリに縮小x137ミリ
y46ミリ1ミリケイ
20ミリ↑
30ミリ↑
53ミリ0.2ミリケイ
白ヌキ
70ミリ
文庫・白ヌキ

11a新ゴB 18ミリ

10aロタンDB

写真2 公園に付設された足湯

x139ミリ
y99.5ミリ68ミリ↑
51ミリ

20ミリ

山口市は本州最西端の山口県の中央に位置し、「西の京」として知られている人口約19万人の都市です。総合病院山口赤十字病院（以下、当院）は山口市の中心部、新幹線新山口駅から在来線山口線に乗り換え20分ほどのところにあります。

当院は県中央部から北部、さらに隣県の島根県西部にまたがる医療圏の基幹病院として急性期医療を提供しています。新生児集中治療室（NICU）/新生児回復室（GCU）を有する地域周産期母子医療センターとして周産期医療を、そして小児救急医療拠点病院として小児医療を支えています。そのため緊急手術のうち、帝王切開や小児緊急手術の割合が比較的高いといえます。そのほか、最近では少数ながら無痛分娩にも携わるようになりました。麻酔科は現在、3人の常勤医と非常勤医で、年間約2400件の麻酔管理症例に対応しています。

山口市は、約650年前の室町時代に大内氏が、京都を模した町づくりが進められたこともあり、現在もその史跡が点在しています。香山公園（香山町7-1）はその代表ともい

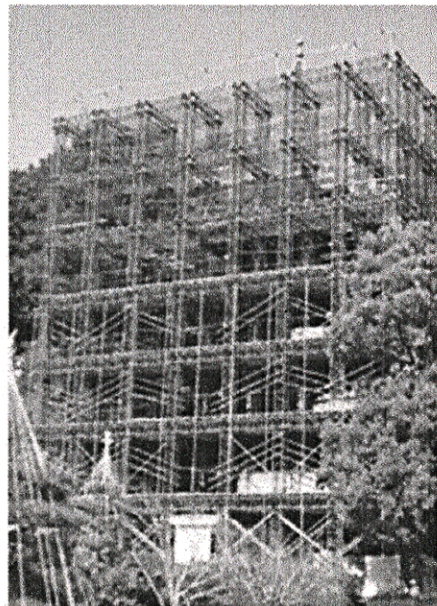


写真1 現在葺き替え中の五重塔

え、園内に桜や梅、紅葉の名所があり、観光客のみならずわれわれ地元民も季節の変化を感じることができます。園内にある国宝「瑠璃光寺五重塔」[残念ながら、現在は70年ぶりの檜皮葺屋根の全面葺き替え工事中で、復旧は2026年3月頃の予定（写真1）]は、日本三名塔の一つとして特

（上堅小路100）で開催される山口祇園祭も、地元民にとって大きなイベントの一つです。大内氏が京都から八坂神社を勧請し、その祭礼を行ったことに始まり、以降、現在に至るまでコロナ禍などの特別な事情を除き、毎年開催されている伝統的なお祭りです。

観光客の宿泊地かつ地元民の憩いの場

である湯田温泉は、当院から車で10分程度の場所にあります。ケガをした白狐が傷を癒したという「白狐伝説」が伝えられている湯田温泉は、アルカリ性単純温泉でやわらかく肌になじむため美肌効果があると言われています。周辺の食事処では、北は日本海、南は瀬戸内海から取れたての海の幸とともに、中国山地で育った山の幸を堪能することができます。また近隣には足湯が多く、無料の足湯だけで6か所も設置されています（写真2）。天気の良い休日には足湯に浸かりながらテイクアウトしたスイーツを食すると、とても贅沢な時間を過ごしていることを実感できます。

山口市は、2024年1月9日に米国のThe New York Times紙で“52 Places to Go in 2024(2024年に行くべき52か所)”の3番目として紹介されました。その影響か、特に海外からの観光客が増加傾向にありますが、それでも「増えすぎた観光客による観光汚染のない場所」は健在です。また2025年10月には、旅行ガイドブック「地球の歩き方」シリーズの「山口市」が出版されるということです。山口市がそこでどのように紹介されるのか、いまから楽しみです。皆さんもぜひ一度、お越しください。

総合病院山口赤十字病院 麻酔科 守田 季郎

本文
12a
ドラギ/明報
W2
19ミリ
27ミリ11a
(以下)x20ミリ
y182ミリ
80ミリ↑
57ミリ